

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病気と薬		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	406
担 当 教 員	新井 篤史	実務経験と その関連資格	臨床工学技士として病院で勤務			
《授業科目における学習内容》						
生体に対する薬物の作用メカニズムを学び、疾病の治療への応用や有害事象／副作用について理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
1、定期試験または実技試験;70% 2、出席評価点:20% 3、平常点(授業態度・レポート):10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
新 医療秘書医学シリーズ 5 検査・薬理学						
《授業外における学習方法》						
テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬理学薬理学総論、医薬品、薬理作用の考え方、薬物投与法を学ぶ	新 医療秘書医学シリーズ 5 検査・薬理学	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	薬理学の基礎知識			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経系の生理と主な作用薬を学ぶ	新 医療秘書医学シリーズ 5 検査・薬理学	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	末梢神経系作用薬について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経系の生理と主な作用薬を学ぶ	新 医療秘書医学シリーズ 5 検査・薬理学	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	中枢神経系作用薬について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	消火器系の生理と主な作用薬を学ぶ	新 医療秘書医学シリーズ 5 検査・薬理学	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	消化器系疾患に用いる薬について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器系の生理と主な作用薬を学ぶ	新 医療秘書医学シリーズ 5 検査・薬理学	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	循環器系疾患に用いる薬について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝系の生理と主な作用薬を学ぶ	新 医療秘書医学シリーズ 5 検査・薬理学	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	代謝系疾患に用いる薬について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の生理と主な作用薬を学ぶ	新 医療秘書医学シリーズ 5 検査・薬理学	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	呼吸器疾患に用いる薬について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの内容の理解度の確認	新 医療秘書医学シリーズ 5 検査・薬理学	テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。
		各コマにおける授業予定	復習		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	アレルギーの基礎知識と主な作用薬を学ぶ		
		各コマにおける授業予定	アレルギーの基礎知識と主な作用薬について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	炎症の基礎知識と主な作用薬を学ぶ		
		各コマにおける授業予定	抗炎症薬について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ホルモンとビタミンの基礎知識とその製剤を学ぶ		
		各コマにおける授業予定	ホルモン・ビタミン製剤について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器の生理と貧血・血液性疾患の治療薬を学ぶ		
		各コマにおける授業予定	貧血及び血液系疾患治療薬について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染と主な治療薬、抗悪性腫瘍薬を学ぶ		
		各コマにおける授業予定	感染症治療薬および抗悪性腫瘍薬について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	輸液と製剤を学ぶ		
		各コマにおける授業予定	輸液製剤について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	総復習から試験範囲を確認する		
		各コマにおける授業予定	総復習及び試験対策		